

平成27年度 第3回 上野原市総合教育会議

議事録

1. 日時及び場所：平成27年11月12日（木）午後2時から午後3時10分
上野原市役所 2階 庁議室

2. 出席者：1 委員
江口市長、坂本教育委員長、佐藤教育委員長職務代理者、
白倉教育委員、山下教育委員、和田教育長
〔欠席者は無し〕
2 事務局
企画課（野崎企画課長、守屋政策推進担当リーダー、吉田政策
推進担当員）
教育委員会（尾形社会教育課長、上原学校教育課長、清水教育
総務担当リーダー）

3. 次第：1 開会

2 市長あいさつ

3 教育委員長あいさつ

4 議事
（1）上野原市の教育に関する大綱（案）について
（2）意見交換

5 その他

6 閉会

1 開会

(事務局)

互礼を行います。ご起立願います。礼。よろしく願います。それでは、定刻となりましたので第3回上野原市総合教育会議を始めさせていただきたいと思います。

2 市長あいさつ

(事務局)

まず、始めに市長あいさつ。市長お願いいたします。

(市長)

皆様、こんにちは。暦の上では立冬も過ぎて、いよいよ冬の訪れを感じる季節となりました。早いもので、今年も残り1ヶ月半ほどとなり、間もなく気忙しい師走を迎えます。今年はインフルエンザの流行も懸念されますので、くれぐれもお体にはご留意していただきたいと思います。

さて、前回の「総合教育会議」から3週間ほどが経ちます。その間、私は市民ゴルフ大会、文化祭、へき地教育振興大会などに出席させていただき、教育関係者はもとより幅広い年齢層の方々が、文化活動や生涯活動に熱心に取り組まれている姿を拝見して参りました。

本日は、関係団体の皆様からいただいた貴重なご意見ご提言を踏まえて、「教育大綱」(案)を取りまとめましたので、引き続き慎重なご審議をいただくこととします。

今後は、「教育大綱」(案)を市議会にお示しし、広く市民の皆様からご意見を募るパブリックコメントを経て、年明けには大綱を制定して参りたいと考えております。

結びに、本日の会議が有意義なものとなり、この「教育大綱」(案)が市民に誇れるものとなりますことをお願い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

3 教育委員長あいさつ

(事務局)

続きまして、教育委員長よりごあいさつをいただきたいと思います。坂本教育委員長、よろしく願います。

(教育委員長)

上野原市教育委員会を代表して、一言ごあいさつ申し上げます。今年も残り1ヶ月と二十日余りとなり、特に朝晩の冷え込みも増して参りまして、また寒い季節となりました。

さて、先日、京都で小学校6年生が大麻を吸うというような事件が起こりまして、児童や父兄が事情聴取を受けているショッキングなニュースが入って参りました。

京都府教育委員会では、小中高約250校の校長を集め、緊急の校長会を開くなどして薬物防止に向けた対応等を行っているようです。このような事件が起こりますと、

子供達の教育には、日頃から地域と保護者との連携が必要では無いかと強く感じているところであります。

また、当市の教育委員会では、10月15日と22日の二日間、文化ホールにおいて、新一年生になる児童の就学時健康診断等を実施し、いよいよ来年度に向けた準備が始まったところであります。

第3回の総合教育会議ですが、「教育大綱」の最終案作りと言うことでありまして、未来の子供達のための施策として、私達、教育委員が抱えている意見を再度述べさせていただけるものと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(事務局)

ありがとうございました。

4 議事

(事務局)

それでは、4の議事に移ります。議長は、要綱に基づき市長にお願いしたいと思ひます。それでは、江口市長お願いいたします。

(議長)

それでは、さっそく議事を進めて参りたいと思ひます。1、「上野原市の教育に関する大綱（案）について」でございます。事務局からご説明申し上げます。

【教育大綱（案）について 説明】

(議長)

ただいま、事務局より「上野原市の教育に関する大綱（案）について」説明をいたしました。引き続き「意見交換」に入りたいと思ひます。なお、前回の会議で教育関係団体の皆様からいただいたご意見等を踏まえた最終案となります。改めまして皆様にご意見をお伺ひしたいと思ひます。

それでは、1番目の「大綱策定の趣旨」から順番にお伺ひしたいと思ひます。

(和田教育長)

上から4行目の『…市長と教育委員会で構成とする…』について、『とする』の『と』は要らないと思う。

(議長)

その他、いかがでしょうか。

(出席者)

無し。

(議長)

この「大綱策定の趣旨」については、4行目『とする』の『と』を取って決定いたします。

(議長)

次に、2番目の「計画期間」はこれでよろしいでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

それでは、3番目の「基本理念」についてですが、前回の「教育大綱」(案)では記載がありませんでした。教育関係団体の皆様からのご意見を受けまして、この①から③までの理念を加えております。この内容について、教育委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

(坂本教育委員長)

理念ですので、分かりやすい方が良くと思います。記載方法も、横に長くなるのでは読みにくいので、②のように記載する方法が良いと思います。

また、2行目に『(気高くはばたき)』とありますが、『気高く』という言葉は現代の子供達にはどうかと思います。また、『はばたく』という言葉は、私も好きな言葉であり、『輝く未来を拓く』の『拓く』も子供達には馴染みが薄いと思いますので、『(気高くはばたき)』を取って、『輝く未来を拓く』を『輝く未来にはばたく』としてはどうかと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

確かに、最近『気高く』という言葉はあまり聞かないので、『(気高くはばたき)』は無い方が良くと思います。また、市民や外部の方にも分かりやすいものにする必要がありますので、記載方法は①より②又は③の方が良くと思います。

(山下教育委員)

私も、見た目は②が見やすく良いかと思いました。また、『(気高くはばたき)』はあっても無くても良いと思いますが、入れるのであれば『輝く未来を拓く』の『拓く』を別の言葉に置き換えてはどうかと思います。

(白倉教育委員)

私も、個人的には②が良いかと思います。また、横に記載するか縦に記載するかでイメージも変わってきますが、3行として段を付けたスタイルの方がずっと入ってくると思います。また、記載する言葉は『輝く未来にはばたく』にして、3行とするのが良いかと思います。

(和田教育長)

先ほどの所ですが、『未来を拓く』ということは、自分達の手で切り拓いて行くという意味です。『未来にはばたく』ということだと、輝く未来に羽ばたいて行くだけという意味になってしまうと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

今、日本も時代の変わり目に来ていると思います。テレビでも明治維新のことが良

く取り上げられていますが、あの時代も切り拓く時代であったように思います。今は、情報化もかなり進んで来ており、人が少し足踏みしているような時期ですので『拓く』という言葉も良いかと思います。ただ、『拓く』は普段使わない言葉ですので子供達には難しいかもしれませんが、一般的には『拓く』でも良いかと思います。

(坂本教育委員長)

以上のお話ですと、『輝く未来を拓きはばたく』とするか、『輝く未来を築きはばたく』としてはどうかと思います。やはり、『拓く』という言葉は子供達には難しいと思います。

(議長)

基本的なことを確認しますが、教育大綱は誰を対象としているのでしょうか。

(事務局)

全市民が対象となります。

(和田教育長)

やはり、『はばたく』という言葉を入れるのであれば、『輝く未来を拓く』の前に入れないと、文章の流れが良くないと思います。

(議長)

理念としては、『輝く未来を拓く』で締めた方が良いかと思いますので、『気高くはばたき』をそのまま残すか、『気高く』を別の言葉で置き換えるかなど、改めてお伺いしたいと思います。

(山下教育委員)

『はばたく』は良い言葉だと思いますが、『気高く』がどうかと思います。

(白倉教育委員)

『はばたく』にこだわると難しいと思います。私は、理念としては3行にこだわりたいと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

私は、単純に『(気高くはばたき)』をカットして、3行で良いと思います。

(坂本教育委員長)

佐藤教育委員長職務代理者の意見で結構です。

(和田教育長)

佐藤教育委員長職務代理者の意見で結構です。

(議長)

それでは、3番目の「基本理念」については、『健やかに学び、輝く未来を拓く、心ふれあう上野原の人づくり』でお願いいたします。また、②の記載方法のとおり段違いで記載することといたします。

(議長)

続きまして、4番目の「教育施策の3つの柱」ですが、順番に1つ目の『1子ども

の「生きる力」を育む学校教育の推進』の1段目からどうでしょうか。

(坂本教育委員長)

内容はこれで良いと思いますが、『…「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む…』とありますが、『…「豊かな心」「健やかな体」そして「確かな学力」…』とした方が良いと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

坂本教育委員長のお考えのとおりで良いと思います。

(白倉教育委員)

私は、『…「健やかな体」…』を1番、『…「豊かな心」…』を2番、『…「確かな学力」…』を3番とするのが良いと思います。

(山下教育委員)

私は、『…「豊かな心」…』を1番、『…「健やかな体」…』を2番、『…「確かな学力」…』を3番とするのが良いと思います。

(和田教育長)

参考としまして、一般的に自治体では原案のとおり記載順となっています。

(議長)

これまでの意見を整理して、ご意見の多い方で決定させていただきたいと思いますので、1段目は『・学習環境を充実し、一人ひとりに向き合った指導や支援により、「豊かな心」「健やかな体」そして「確かな学力」を育む教育を推進します。』でよろしいでしょうか。なお、『一人一人』を『一人ひとり』とするかは、事務局に一任させていただきたいと思います。

次に2段目は、どうでしょうか。

(山下教育委員)

これで良いかと思います。

(白倉教育委員)

『…障がいを持った方・高齢の方等との…』を『…障がいを持った人・高齢の人等との…』としてはどうかと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

障害者や高齢者のみならず、子供同士の交流なども必要では無いかと思いますが、この趣旨が共生であるならば、このとおりで良いと思います。

(坂本教育委員長)

『…、豊かな人間性を培い、…』の『豊かな』が抽象的であるかと思いますが、『…、他者にやさしい人間性を培い、…』などとしてはどうかと思います。

(議長)

私は、「他者にやさしい」という意味も含めて、以降の『…、思いやりの心…』に続くものと思います。また、「他者」に限定せずに、全てのものに思いやりの心を持

つとした方が良いと思いますが、いかがでしょう。

(和田教育長)

学校教育の視点で考えますと、子供と子供の交流や、障がいを持った子供とそうでない子供の交流までを読み取れることができれば良いと思います。

(議長)

それでは、『…障がいを持った方・高齢の方等との…』について、『方』とするか『人』とするかをお伺いします。

(出席者)

『人』で異議無し。

(議長)

それでは、3段目に移りたいと思います。ご意見をお伺いします。

(坂本教育委員長)

このままで十分良いかと思いますが、『…バランス感覚を持ちながら活躍できる…』を『…バランス感覚を持ちながら積極的に活躍できる…』としてはどうかと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

個人的には、具体的に「異文化との交流」などを加えてはどうかと思います。

(山下教育委員)

このままで良いと思います。

(白倉教育委員)

『様々な人々との関わりの中から、国際社会の中で…』とありますが、『様々な…』から『…、国際社会…』に飛んでしまっているの、何かつなぎの言葉があればと思います。

(和田教育長)

僕も『様々な人々との関わりの中から、…』の『様々な…』が何を指すかが疑問と思います。後に続く『…、国際社会…』に対して具体的に示すことが必要なのかもしれませんが。他の自治体では「異文化との交流」などと表現している例もあります。

(議長)

その点にこだわると細かくなってしまいます。「異文化」と言えば、外国人、文化、芸術、教育、政治などと広がってしまうので、それらを含めて『様々な…』とくくっているものです。それらを説明するとなると文章が増えてしまいますので、詳しい説明は今後の計画で対応させていただきたいと思います。いかがでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

それでは、委員長案の『…積極的に活躍できる…』として、『積極的』を加えることについていかがでしょうか。

(坂本教育委員長)

日本人が異文化に対して消極的であると考えましたが、些細なことですので無くても良いかと思えます。

(議長)

それでは、「教育施策の3つの柱」の1つ目については、以上のとおり決定させていただきます。

続きまして、「教育施策の3つの柱」の2つ目、『2豊かに学べる生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興』の1段目からどうでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

1段目はこれで決定いたします。2段目に入ります。いかがでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

はい。2段目もこれで決定いたします。3段目ですが、『子どもから高齢の方まで…』の『方』は、先ほども議論がありましたので『人』としましょう。これについては、いかがでしょうか。

(坂本教育委員長)

一言付け加えるとすれば、『…、生涯学習の環境を充実します。』を『…、心ふれあう生涯学習の環境を充実します。』としてはどうでしょうか。

(議長)

坂本教育委員長より、『心ふれあう』という言葉を入れてはどうかとのことですが、きれいな言葉でもありますし、付け加えてよろしいでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

では、4段目。いかがでしょうか。

(坂本教育委員長)

また、一言付け加えるとすれば、『…健康で生き生きとした生涯が…』を『…健康で生き生きとした豊かな生涯が…』としてはどうでしょうか。

(議長)

それでは、『…健康で生き生きとした豊かな生涯が…』として、『豊かな』を加えてもよろしいでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

はい。4段目もこれで決定といたします。続いて、「教育施策の3つの柱」の3つ目、『3安心・安全な教育環境や教育施設の整備』の1段目からどうでしょうか。

(和田教育長)

最初のタイトルですけど、『3安心・安全な教育環境や教育施設の整備』とありますが、『整備』を『充実』としてはどうかと思います。また、1段目文中の『…、学校・家庭・地域等、…』を『…、学校・家庭・地域・企業等、…』としてはどうかと思います。

(議長)

はい。それではタイトルの『整備』を『充実』とすることについて、いかがでしょうか。私は『充実』の方が良いかと思いますが、どうでしょう。

(出席者)

異議無し。

(議長)

続いて、『…、学校・家庭・地域等、…』を『…、学校・家庭・地域・企業等、…』とすることについて、いかがでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

引き続き、2段目についてご意見をお伺いします。

(坂本教育委員長)

はい。内容は結構ですが、『子育て』という言葉が続きますので、『安心して子育てができるよう「子育て家庭」を支援しながら、…』として、「」で強調してはどうかと思います。

(佐藤教育委員長職務代理者)

強調する意味では良いかと思います。

(白倉教育委員)

先ほどは、タイトルのところで『整備』を『充実』としておりますので、ここも同じにしてはどうかと思います。

(山下教育委員)

これで良いかと思います。

(和田教育長)

今の「」の話ですが、この行だけを見れば教育委員長のご意見のとおりで良いと思います。ただし、大綱全体で見た場合にこの部分だけ「」として強調することでバランスが悪くなってしまうと感じました。それから、『整備』を『充実』とすることですが、『…の充実を推進します。』となってしまいます。充実を推進するという言葉は

おかしくなってしまいますので、『…充実します。』とする必要があるかと思ひます。

(議長)

教育長の提案についてはいかがでしょうか。

(出席者)

異議無し。

(議長)

それでは、原案のままとして決定します。

(議長)

次に、3段目についてご意見をお伺ひします。

(出席者)

異議無し。

(議長)

ご異議がありませんので、原案のままとして決定します。

はい。以上で大綱についての意見交換を終わらせていただきますが、その他としてご意見等はございますでしょうか。

よろしければ、長時間にわたり貴重なご意見をありがとうございました。本日、委員の皆様からいただいた意見を盛り込んだうえで、最終案として、事務局には教育大綱の策定をお願いします。

それでは、議事が終了しましたので、以上をもって、議長の職を解任させていただきますと思います。ご協力のほどありがとうございました。

(事務局)

市長には、議事進行のほど、お疲れ様でした。

5 その他

(事務局)

それでは、次第の5、その他に移りたいと思ひます。事務局から今後のスケジュールについてご説明させていただきます。

【今後のスケジュールについて 説明】

(事務局)

事務局からは以上です。その他、ご出席の皆様からございますでしょうか。

(出席者)

無し。

6 閉会

(事務局)

それでは、以上をもちまして、第3回上野原市総合教育会議を終了とさせていただきます。

き、互礼をもって散会いたします。

【互礼 散会】

以 上